

【第2部】今からでもご参加いただける プロジェクトのご案内

東京都支援事業（事業所における空調設備の導入）

第2回カーボンクレジット創出セミナー

2026年10月6日

クレアトゥラ株式会社
Creattura Co., Ltd.



Creattura



「プログラム型プロジェクトを活用したカーボンクレジット創出支援事業」

出典：東京都HP

本事業においては、空調設備からのクレジット創出に重点的に取り組んでいます！

報道発表資料：2025年11月19日

産業労働局

新規事業 小さな排出削減等を取りまとめてカーボンクレジットを創出！ 今、全国で注目！「プログラム型プロジェクト」を運営する事業者を決定しました！



東京都では、小規模な排出削減活動等を取りまとめてカーボンクレジット【注】の創出を目指す事業者を支援する「プログラム型プロジェクトを活用したカーボンクレジット創出支援事業」を実施しています。このたび、東京都と協定を締結し、クレジットの創出に取り組む事業者を採択したのでお知らせします。

【注】カーボンクレジットとは、省エネルギー設備の導入や森林管理の取組などによるCO₂の排出削減量や吸収量を、第三者機関による検証を経て、企業等の間で取引できるよう認証したものです。

採択事業者は、今後、都内中小企業等の排出削減活動等を取りまとめてクレジットを創出するとともに、削減等の成果に応じた参加者への利益の還元を目指します。自社の排出削減等の取組をクレジット化したいとお考えの皆様は、ぜひお気軽に各事業者へお問い合わせください。



空調設備の導入 EN-S-004

クレアトゥラ株式会社

・ 一般社団法人首都圏産業活性化協会

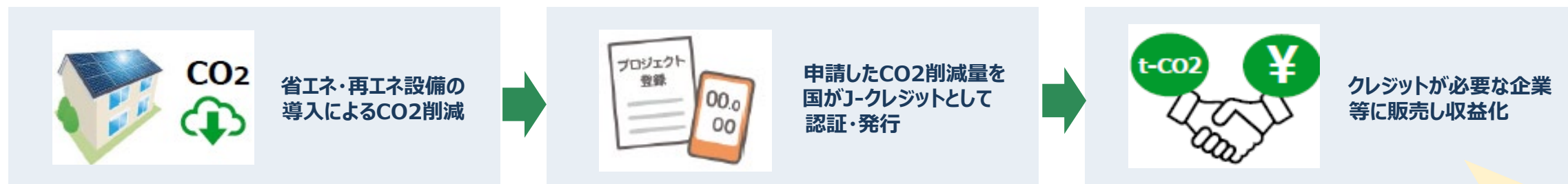
プロジェクトの概要

クレアトゥラ株式会社では、一般社団法人首都圏産業活性化協会と連携しながら、高効率な空調の導入に取り組む中小企業等を募集しています。具体的には、事業所や店舗等に導入した高効率な空調設備において削減した電力又は化石燃料の使用量を基にCO₂排出削減量を算定し、J-クレジットを創出します。そして、創出されたJ-クレジットを必要な地域や企業等に販売して得られた収益を還元することで、中小企業等の皆様は投資回収の前倒しや新たな活動の原資とすることが可能となります。

J-クレジット制度と空調設備におけるクレジット化

◆J-クレジット制度とは J-クレジット制度

・省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入による**CO2排出削減量を、「クレジット」として国が認証する制度**です。



◆空調設備でのJ-クレジット化について

- ・高効率な空調設備の導入により、従前よりも**削減した電力/燃料使用量のCO2排出削減を評価**します。
- ・ただし、**原則として、空調設備毎の電力/燃料使用量を計測できることが必要**です。

脱炭素目標の達成、カーボンオフセット等で活用するために必要な企業等が購入

要件

- ・ 高効率な空調設備（標準よりも効率がいいこと）
- ・ 自家消費をしていること

2年以内に稼働した設備で、計測*ができること

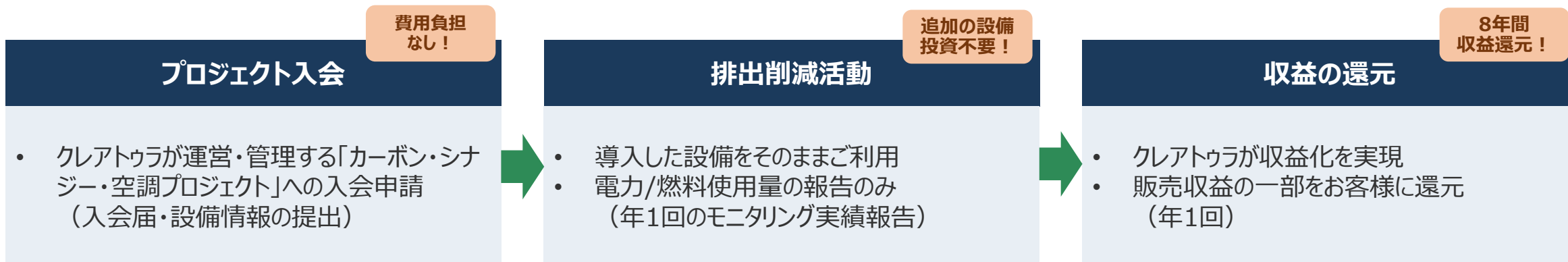
投資回収年数が3年以上

他の類似制度・プロジェクトに登録されていないこと

*導入した空調設備単体/群で計測できればベスト！
空調設備毎の稼働時間が把握できる場合は、全体の電力/燃料使用量から概算値を算出して対応

参加しやすい仕組み「空調プロジェクト」

プロジェクト参加に費用はかかりません。最低限の事務作業でクレジット創出が可能に！



- ✓ 追加投資なしで保有設備の環境価値を収益化 / 設備設計から保守対応まで一括サポート
- ✓ 省エネによるCO2削減効果を収益還元！新たな価値を産み出しながら脱炭素に貢献！！

空調設備の規模	年間CO2排出削減量	年間還元額	8年間累計
小規模（店舗）※1	約2t-CO2*	約4,000円/年*	約32,000円
中規模（オフィス）※2	約15t-CO2*	約30,000円/年*	約240,000円

(※1) GHPを1台新設した場合の目安です。

(※2) 5馬力の業務電気用エアコンを10台更新した場合の目安です。

* 削減量や年間還元額は、設備仕様やクレジットの市場状況等により変動するため、概算値であることを申し添えます。

入会時に必要な設備情報と証憑

入会申請フォームに沿って入力していただくだけで入会申し込みが可能です！

 **カーボン・シナジー・空調プロジェクト**
入会申請フォーム

【はじめに】

- 本サイトは、「カーボン・シナジー・空調プロジェクト」に入会する方向けのオンライン申請フォームです。
- クレアトゥラ株式会社は、地域における脱炭素活動の推進に賛同した企業と「カーボン・シナジー・コンソーシアム」を設立しました。そのコンソーシアムの事務局であるクレアトゥラ株式会社が本プロジェクトを運営・管理しております。

入会申請フォーム

基本情報
下記をご入力の上、次にお進みください。 *：入力必須の項目となります。

申請日 *
2026/02/25

姓 (漢字) * 名 (漢字) *
姓 (カタカナ) * 名 (カタカナ) *

郵便番号 (ハイフンなし) * 検索

都道府県 * 市区町村 *
丁目・番地 * 建物名・部屋番号

☐ 設備設置場所は上記住所と異なる (異なる場合は次の画面で設置場所の住所を入力してください)

電話番号 (ハイフンなし) * 電子メール *

最初からやり直す 次へ

※オンライン申請フォームイメージ

導入前（ベースライン）の設備情報：

メーカー、型式、台数、エネルギー効率

導入後（新設/更新）の設備情報：

メーカー、型式、台数、機器固有番号、エネルギー効率

稼働開始日

自家消費の確認

追加性の確認（投資回収年数の確認）

総投資額

補助金の名称・補助金額など

導入前直近1年間の電力又は燃料使用量 (kWh,Nm3,kg)
及び平均購入単価(円/kWh,Nm3,kg)

導入後直近1ヶ月の電力又は燃料使用量 (kWh,Nm3,kg)
及び平均購入単価(円/kWh,Nm3,kg)

情報が確認できる書類（契約書、仕様書、カタログ等）も
写真を撮影してアップロード可能！

事例紹介：業務用空調設備の更新事例（本プロジェクトへの参加事例）

◆ケース1：業務用マルチエアコンの更新(EHP)

- » 入会申込日：2026年8月21日
- » 入会申込者：都内中小事業者
- » 取組内容：本社事務室の空調設備更新に伴うクレジット創出（6馬力相当の業務用マルチエアコン1台を更新）
- » 創出見込み：約0.2t-CO₂/年
- » 参考情報：ベースラインの設備と更新後の設備のエネルギー消費効率(APFp値)の差分が少なく、創出量は僅か
- » 取組の背景：追加の設備投資や費用負担がなく、年1回の実績報告のみで参加できる手軽さ

◆ケース2：ガスヒートポンプの新設(GHP)

- » 入会申込日：2026年4月28日
- » 入会申込者：東日本地区の中小事業者
- » 取組内容：本社事務所の空調設備新設に伴うクレジット創出（20馬力相当の業務用ガスヒートポンプ1台を新設）
- » 創出見込み：約2.3t-CO₂/年
- » 参考情報：方法論の規定に基づき、同等規模の業務用マルチエアコンをベースラインに設定
- » 取組の背景：手間が少なく、捨てられていた環境価値を有効活用して収益化できる点

中小企業の皆様からいただく質問

- » Q. 登録可能な空調設備について、具体的な要件を教えてください。
- » A. 主に3つの要件があります。
 - ①稼働開始から2年以内の新設・更新設備であること。 ※電気/ガスどちらも対象
 - ②標準的な空調設備の消費効率以上の空調設備を導入すること。
 - ③原則として、空調設備単体の電力又は燃料使用量を計測できること。
- » Q. 空調設備単体の電力又は使用量を測れません。どのような対処法が考えられますか。
- » A. 空調設備群を計測するロガーの設置などをご検討いただきたいですが、空調設備単体から創出されるクレジット量はそれほど大きくないため、予め創出量の大まかな試算をさせていただき、慎重にご判断いただきたいと思います。
- » Q. 補助金を利用している設備も対象になりますか。
- » A. 補助金を差し引いた投資回収年数が3年以上であれば対象ですが、当該補助金の要項等でJ-クレジットに変換することを禁止している場合があるため、補助金の交付元に要件を確認してください。
- » Q. 申請にはどのような書類が必要ですか。
- » A. 仕様書・カタログ・契約書など、空調設備の概要が分かる情報とその証憑が必要です。申請フォームからアップロードいただけます。

「EMSを導入していて電力使用量が測定できる」
「GHPを導入していて専用の流量計がついている」
等の場合は、クレジット化できる可能性が高いです。
ぜひともご一報ください。

カーボンのクレジットの認知度向上の取組み ～TikTok動画配信～

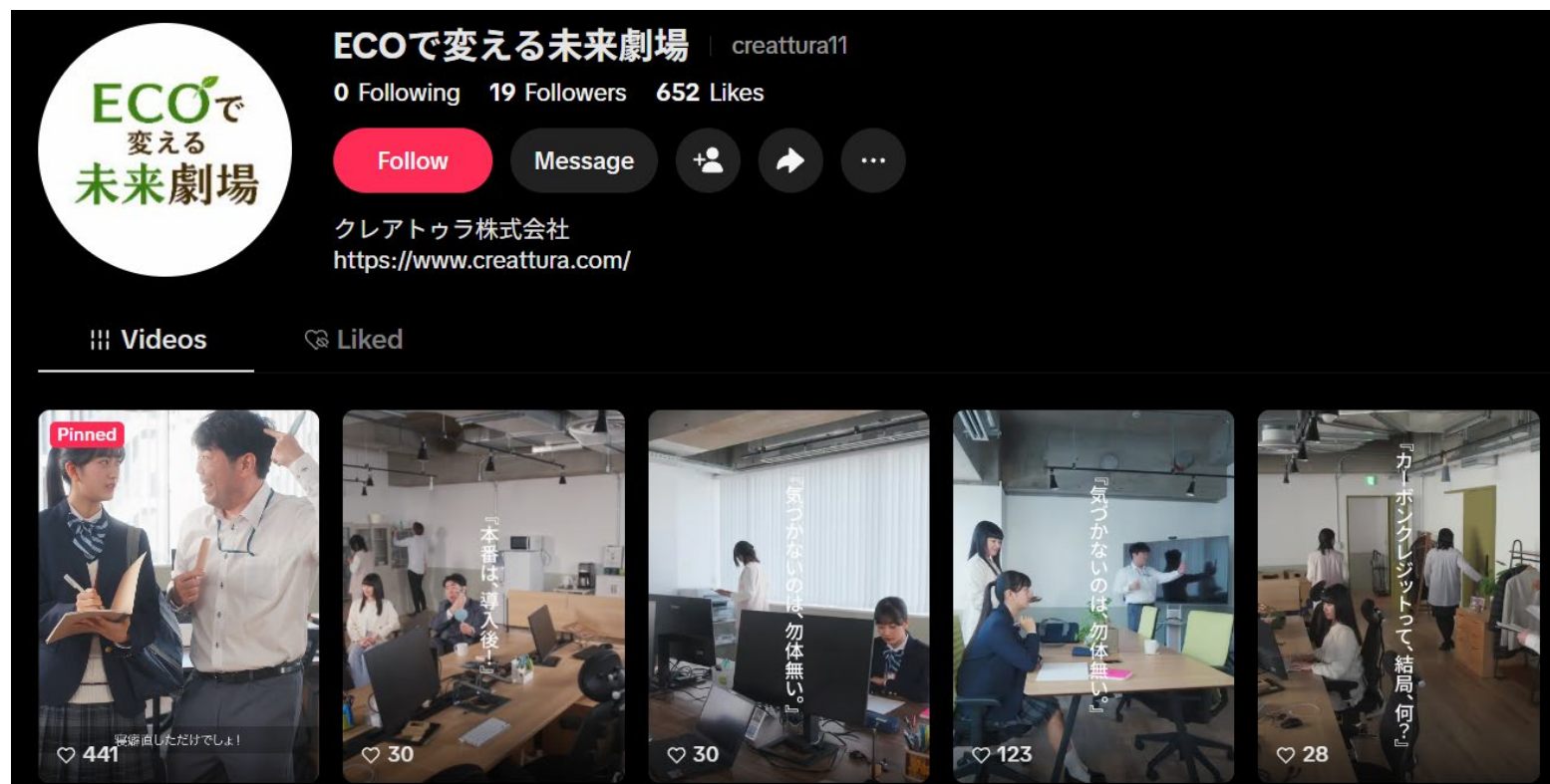
◆取組内容①：TikTok動画の配信

- » 取組背景：カーボンのクレジット(J-クレジット)という言葉が世間一般に認知されていないことに加え、新しい取組に対する抵抗感などを抱く方が多い。このため、家庭や若年層を通じた認知度を高めることに取組み、カーボンのクレジットに関する理解を浸透させる取組を実施中。
- » 主な内容：TikTokにおけるショート動画配信
1編60秒程度とし、面白く・分かりやすく伝えることを意識しています。

▽こちらからも視聴可能です▽



カーボン・クレジットを動画で直感的に理解できます！



<https://www.tiktok.com/@creattura11>

カーボンのクレジットの認知度向上の取組み ～コラム配信～

◆取組内容②：コラムの配信

- » 取組背景：企業や自治体の担当者において、「そもそもカーボンのクレジットが分からない」、「制度が複雑なため、正しく理解できているか不安」といった声を良く耳にします。グリーンウォッシュの懸念解消等に役立てていただくため、継続的に専門的なコラムを発信しています。
- » URL：
https://creatura.com/news?389cf06b_page=2&9d430075_page=2#to-columns

カーボンのクレジットをより分かりやすく解説しています！



Column

【カーボンのクレジットを学ぼう】第6章-3日常生活の活用事例 - 「買い物」が未来を動かす

2026.8.10



Column

【カーボンのクレジットを学ぼう】第6章-2自治体・地域の活用事例 - 森が「地域の資産」になる

2026.7.27



Column

【カーボンのクレジットを学ぼう】第6章-1カーボンのクレジットの活用事例 - 企業の活用事例 - クレジットは「最後のピース」

2026.7.13



Column

【カーボンのクレジットを学ぼう】第5章-3市場はどう回る？ - 価格・品質・取引の仕組み（「環境の通貨」の育て方）

2026.6.15



Column

【カーボンのクレジットを学ぼう】第2章-3未来のCO₂削減技術

2026.1.26



Column

【カーボンのクレジットを学ぼう】第2章-2身近な技術で減らして造るクレジット

2026.1.19



Column

【カーボンのクレジットを学ぼう】第2章-1森が生み出すカーボンのクレジット

2026.1.12



Column

【カーボンのクレジットを学ぼう】第1章-3なぜ世界が注目しているの？

2026.1.05

「カーボン・シナジー・コンソーシアム」では、
共にクレジット創出に取り組む会員企業様と中小企業様を同時に募集しております。

まずは、お気軽にお問い合わせください。



メールアドレス : CarbonSynergy@creattura.com
URL: <https://www.carbon-sc.com/contact>



Creattura

ありがとうございました

✉ CarbonSynergy@creattura.com

🌐 www.creattura.com

